



2026年6月30日

自然や歴史、文化などに触れながら学べる体験学習型イベント 学びクラブ「お笑いワークショップ」を開催 ～唯一無二の横浜特化型芸人「横浜ヨコハマ」のお笑い教室～

相鉄グループ

相鉄グループは「相鉄線沿線 学びクラブ」の一環として、2026年7月11日（土）に、横浜特化型芸人“横浜ヨコハマ”による小学4年生～中学3年生を対象とするお笑い教室「お笑いワークショップ」（以下、同イベント）を開催します。

同イベントは、「ボケ・ツッコミってなんだ？」というお笑いの最初の1ページから学べるお笑い教室です。大喜利体験やシチュエーションコントなどを経て、実際にショートコントや漫才に挑戦していただきます。講師の“横浜ヨコハマ”は、「横浜から一步も出ない」と公言する正真正銘の横浜特化型芸人です。お二方ともに生まれも育ちも横浜で、中学で出会った同級生コンビ。同級生ならではの息のあった“MCの掛け合い”、“横浜漫才”と特技の“50音横浜豆知識”が必見ネタです。それぞれ「かながわ検定横浜ライセンス」の1級、2級を取得しており、「横浜市民377万人全員に知られ、横浜を一步出たら誰も知らない」というニッチな新境地を開拓するため日々奮闘しています。

「相鉄線沿線 学びクラブ」は、自然豊かで緑あふれる相鉄線沿線の魅力を沿線内外の方に知っていただき、地域に触れていただくことを目的としています。同イベントを通じて、新たな視点から横浜と相鉄線沿線の魅力を発見していただき、地域に住む方々を中心に、さまざまな方にご支援をいただきながら、「この街が好き！」を育てまいます。

<参考>横浜ヨコハマ プロフィール



お笑いワークショップ講師
「横浜ヨコハマ」

○写真左

上仲 誠彦（かみなか まさひこ）

1983年1月30日 A型 金沢区出身

○写真右

新村 晋（にいむら すすむ）

1982年12月10日 A型 磯子区出身

○略歴

1997年 コンビ結成

2009年 (株)浅井企画へ所属

2012年 コンビ名を「横浜ヨコハマ」に改名し、横浜でのご当地活動を開始

2019年 独立

2023年 「横浜ヨコハマ×SEABASS イルミネーションクルーズ」開催

学びクラブ「お笑いワークショップ」の概要

1. 開催日時・場所
2026年7月11日(土) ①10:00~12:00 ②13:30~15:30
ジョイナステラス二俣川 ジョイナステラス3 4F コミュニティサロン
2. 開催内容
横浜特化型芸人“横浜ヨコハマ”によるお笑い教室
○“ボケ”“ツッコミ”ってなんだ?
○大喜利体験/シチュエーションコント体験
○実際にショートコントをやってみよう!など
3. 参加方法
事前申し込み制(先着制)
※申込締切日 7月10日(金)
相鉄線沿線のイベント、エリアマネジメント拠点の活動情報サイト「コトコト!」よりお申し込みください。
<https://www.sotetsu-bm-areamanagement.com/>
4. 参加費
1人1,000円(税込み)
※当日、受付にてお支払いいただきます。(現金のみ)
5. 募集人数
各回最大14人×2回 ※保護者別
6. 参加対象
小学4年生~中学3年生 ※小学生のお子さまは保護者同伴
7. 主催・後援・協力
○主催 相鉄グループ
○協力 横浜ヨコハマ
8. その他
○イベントの詳細は、相鉄線沿線のエリアマネジメント情報サイト「コトコト!」からご確認ください。
<https://www.sotetsu-bm-areamanagement.com/>
○参加条件として、「相鉄線沿線 学びクラブ」公式LINE お友達追加・画面提示およびアンケートへのご回答をお願いしています。
○会場へは、公共交通機関などをご利用ください。
○開催内容は変更となる場合があります。
○当日は、ご案内する係員の指示に従っていただきますよう、ご協力をお願いします。
○イベントの様子を静止画や動画で撮影し、後日公式ウェブサイトやSNS、ポスター等に使用する場合があります。ご参加いただいた方には、その旨ご了承いただいているものとします。
○当日は、テレビ・新聞などのマスコミによる取材が入る可能性があります。ご参加いただいた方には、その旨ご了承いただいているものとします。

相鉄グループのGREEN×EXPO 2027 Village 出展について

相鉄グループは、2027年3月19日(金)から開催される「2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)」のKids Village(キッズビレッジ)にて、「SOTETSU PARK(そうてつぱーく)」を出展します。

SOTETSU PARKのコンセプトは「ともだちとすみか」。「ともだち」は、ひとをはじめ身近に暮らす生きもの、「すみか」は、生きものそれぞれに適した住処を指し、生物と自然が影響を及ぼし合いながらも調和して暮らすフィールドを表します。子どもたちが「ともだち」に出会い、「すみか」で遊びながら触れていくことで、身近な生きものや自然を知り、守るアクションにつなげていくことを目指します。

